

## 84 空き家率全国 8 位

平成 30 年 8 月 16 日掲載

住宅・土地統計調査は、総務省統計局が 1948（昭和 23）年以来、5 年ごとに実施しており、今年 10 月の調査が 15 回目になります。

この調査は、日本の住宅や土地の状況を把握するため、全国約 370 万世帯を対象に行う大規模なものです。今回は特に、空き家対策の重要性が年々高まっていることを受け、空き家の実態をより詳しく把握することとしています。

前回 2013（平成 25）年の調査結果を見ると、総住宅数は全国で約 6063 万戸と、前々回の調査（2008 年）に比べ約 304 万戸、5.3%増加しています。一方で、空き家率（別荘などの二次的住宅を除いた空き家の割合）も一貫して上昇を続け、12.8%と、住宅の 8 戸に 1 戸が空き家となっています。

では、山口県はどうでしょうか。住宅総数は約 70.7 万戸で、前々回調査に比べ約 1.5 万戸、2.2%増加していますが、全国に比べると住宅の増加率は緩やかです。

一方、空き家率（2013 年）は 15.6%で、都道府県別順位は第 8 位と全国の中では高い割合となっています。

また、空き家率の推移を見ると、2003 年までは全国平均とほぼ同じ状況でしたが、2008 年調査以降は全国平均を大きく上回るようになっていきます。

果たして今回の調査では、どのような結果が出るのでしょうか？

今回の調査は、パソコンやスマートフォンを使ったインターネット回答が可能となっており、より便利になっています。また、配布された調査票を、訪問する調査員に直接提出する、郵送するなど、都合に合わせて回答方法を選ぶことができますので、ぜひご回答をお願いします。



出典：総務省「住宅・土地統計調査」